

令和 8 年度ウミガラス保護増殖ロードマップ中間評価について

北海道地方環境事務所

1. 概要

令和 8 年度は、ウミガラス保護増殖ロードマップ（以下、ロードマップ）で定めた中間評価実施年となる。ロードマップでは、中期目標の達成度合いから各種取組を評価するために計画期間を 10 年間としており、5 年目に中間評価を行うとともに、令和 9 年度以降の取組方針を決定するなど、取組の進捗状況及びウミガラスの生息状況に応じて順応的に見直しを行うこととなっている。本資料では、令和 8 年度に行う中間評価の実施方法や日程について検討を行う。

2. 中間評価の実施事項

・ 中期目標の達成状況の評価

ロードマップでは、飛来数が過去からの推移を把握する指標となることに加え、将来的に繁殖に加わりうるつがい数等を推測できることから飛来の目標を定めている。また、天売島繁殖地のつがい数を増加させ、安定的に繁殖成功・巣立ち成功させることがきわめて重要であることから、繁殖の目標として、つがい数や巣立ち成功率の確保について目標値を設定している。中間評価にあたっては、策定時に算出された令和 8 年度時点の目標値を基に達成状況を示し、検討会にて進捗評価を行う。

・ 取組の評価及び令和 9 年度以降の取組方針の決定

ロードマップでは、中期目標達成のために必要な取組として、生息状況の把握や繁殖環境の維持・改善といった各種の取組を定めている。中間評価ではロードマップ策定時からの各取組の実施内容・結果・課題等を取りまとめて評価する。併せて、今後の方針及び令和 9 年度から令和 13 年度にかかる行程表（※表 1：令和 4 年度時点の行程表）を決定する。

（中期目標の中間目標：ウミガラス保護増殖ロードマップ p 6 抜粋）

飛来の目標：天売島での最大同時飛来カウント数（以下、飛来数）を令和 8 年度時点で、119 羽以上とすること（中期目標は 200 羽以上）。

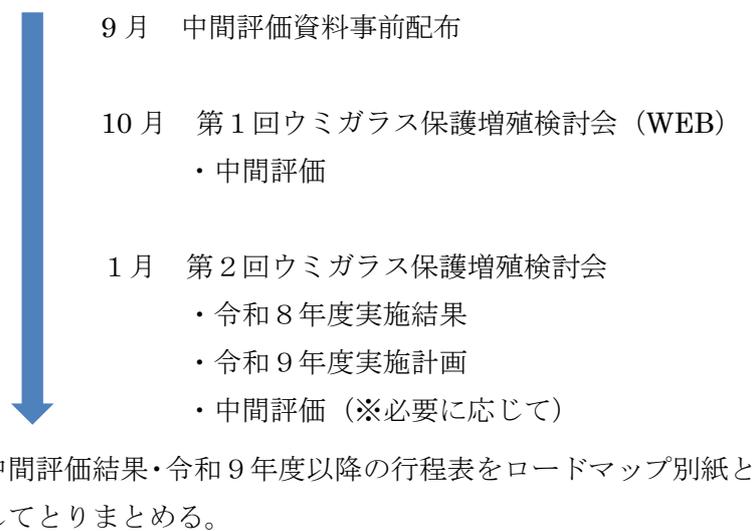
繁殖の目標：天売島の繁殖地での確認されたつがい数（卵または抱卵姿勢）を 67 つがい以上とすること（中期目標は 75～125 つがい以上）。

中央巣棚での安定した巣立ち成功（巣立ち成功率 75%以上）を確保すること。また、中央巣棚以外（特に左側巣棚）でも複数つがいの連続した繁殖成功を目指す。（中間目標はなし。）

3. 中間評価の進め方

- i 事務局にて、「2. 中間評価の実施事項」で示した事項に必要な資料を作成する。
- ii 令和8年9月頃に、作成した資料を検討委員に事前配布する。
- iii 令和8年第1回検討会（※WEB 開催を予定）において、評価及び方針決定を行い、中間評価における「中期目標の中間目標の評価」及び「取組の評価及び行程表」をウミガラス保護増殖ロードマップ別紙として確定する。
- iv 追加の議論を要する場合、令和8年第2回の検討会においても議論を行う。

行程案：令和8年度ウミガラス保護増殖事業中間評価



		2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027~2031 (R9~13)	実施機関等	
生息状況等の把握	飛来・繁殖状況の把握	飛来状況・繁殖状況のモニタリング ※手法は随時改良、範囲は随時拡大						環境省 ※地域住民と協力	
	生態・動態の把握	航路センサスによる海上のモニタリング						環境省・研究機関	
		足環及びデータロガー等の装着に向けた検討 ※実施可能と判断された場合は速やかに実施						環境省・動物園水族館・研究機関	
		巣棚内残渣の遺伝子解析						動物園水族館・研究機関・環境省	
		卵の色・模様の特徴解析に向けた検討						動物園水族館・環境省	
		飼育下個体からの情報収集						動物園水族館	
繁殖環境の維持・改善	繁殖環境の整備	中央巣棚の再整備 ※飛来・繁殖状況に合わせたデコイ再配置・撤去等						環境省	
		左側巣棚の整備内容検討	左側巣棚の整備実施	左側巣棚の再整備 ※飛来・繁殖状況に合わせたデコイ再配置等				環境省	
		右側巣棚の整備の必要性検討 ※必要に応じて整備実施						環境省	
	誘引対策	音声装置の稼働 ※音声は随時改良						動物園水族館・環境省	
		デコイの設置 ※設置場所やデコイは随時改良						動物園水族館・環境省	
	捕食者対策	ハシブトガラス	ウミガラスの卵・雛の捕食状況のモニタリング						環境省
			エアライフル・巣落としによる捕獲 ※モニタリング結果に応じて捕獲圧強化						環境省
		オオセグロカモメ	ウミガラスの卵・雛の捕食状況のモニタリング ※モニタリング結果に応じて捕獲検討・実施						環境省・研究機関
		ドブネズミ	赤岩対産巣棚におけるモニタリング ※必要に応じて対策実施						環境省
	繁殖地の周辺対策	繁殖地周辺への不用意な接近の予防・監視						環境省 ※地域住民と協力	
採餌範囲における情報収集及び保護対策検討	混獲状況の情報収集						NGO・研究機関・動物園水族館・羽幌シーバードフレンドリー推進協議会・羽幌町・環境省 ※地域住民（漁業関係者）と協力		
	混獲回避策の導入に向けた検討 ※効果的な混獲回避策は随時導入								
飼育下繁殖普及啓発	傷病個体の受け入れ体制構築 ※複数の終生飼養個体を飼養することとなった場合は、飼育下繁殖への活用検討						環境省・動物園水族館		
	インターネット等を活用した情報発信						羽幌町・環境省・動物園水族館		
	島民への普及啓発						環境省 ※地域住民への協力依頼		
	現地での普及啓発						環境省 ※地域住民（観光関係者）と協力		
	北海道海鳥センター・動物園水族館等を活用した普及啓発						羽幌町・動物園水族館・環境省・研究機関		
	ウミガラスを活用した環境教育						羽幌シーバードフレンドリー推進協議会・環境省・研究機関		
連携の確保	連携の強化						環境省・羽幌町・研究機関・動物園水族館・NGO・羽幌シーバードフレンドリー推進協議会・地域住民		
中間評価・次期計画策定					中間評価 2027年度以降の 取組み方針決定		次期 計画 策定		